

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市南区野間1丁目計画	階数	地上15F
建設地	福岡県福岡市南区野間1丁目91番地	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	444 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2020年11月1日
敷地面積	1,984 m ²	作成者	
建築面積	919 m ²	確認日	
延床面積	9,452 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 空気住環境、機能的な空間作り、敷地内住環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。		
Q1 室内環境 全戸サッシは複層ガラスを使用、外壁は断熱材を吹付けた防露壁とした。またシックハウス対策はF☆☆☆☆材料を使用した。	Q2 サービス性能 共用廊下・住戸内床は段差をなくし、バリアフリーに対応した。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺に配慮した建物高さ、配置を行っている。また道路に面して植栽帯を設け、緑豊かな周辺環境に配慮した。
LR1 エネルギー 共用部・住戸内とも主要な照明はLED照明を採用した。また給湯器を潜熱回収型を採用することで省エネルギーに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 流し台等の水栓は節水コマ等を採用し、便器も節水型とし水資源に配慮した。	LR3 敷地外環境 光害(漏れ光など)によって周囲に悪影響を与えないよう、外灯など照明器具は設置位置や高さに配慮した。外灯の点灯・消灯はタイムスケジュール制御とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される